

震災支援用情報システムと保健医療行政

奥 村 貴 史^{†1}

2011 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災は、東北 3 県の沿岸部を中心とした被災地に甚大な影響を及ぼし、原発事故による電力供給の不安定化を通じて、我が国全体に未曾有の混乱を引き起こした。こうした災害への備えとして、行政側には緊急時の放射能影響予測システムや緊急地震速報システムなどの危機管理用システムがあり、保健医療行政においても災害により生じる様々な健康問題に備えた震災支援用情報システムを備えている。本発表では、そのような保健医療行政における震災支援用情報システムについて概説し、今回の震災を通じて明らかとなった課題と今後の展望について紹介する。

^{†1} 国立保健医療科学院 研究情報支援研究センター